

看護職員が多様な学習目的に合わせて幅広く活用しています



国立大学法人
長崎大学病院

左:看護キャリア支援室看護師長 三浦 哲 様
中央:看護部長 小淵 美樹子 様
右:教育担当副看護部長 宮原 貢千世 様

看護職員の看護実践能力向上の目的で自己研鑽のツールとして活用しています。自分が好きな時間に、いつでも何度でも学習できるところが活用しやすい理由になっています。新人看護職員はもちろん、長期休業および育児休業からの復帰者に対しての看護技術の学習支援、さらには医師の働き方改革におけるタスクシフト/シェアとして診療の補助業務の技術習得の事前課題にも活用し、知識や実践的な看護技術の手技獲得にもつながっています。

院内での取り組みや最新の知見が反映された看護手順を手元で確認



社会医療法人 敬愛会
翔南病院

左:教育担当師長 新崎 綾子 様
右:特任師長 平良 直美 様

看護手順の標準化と改訂を進めるため「ビジュアルナースングメソッド」を導入しました。学研から提供される定期的な改訂も利用できます。院内の物品や注意点も反映できます。とくにインシデント事例をもとにした独自の改訂を加えることで、改善策がスタッフに周知され、実践力の向上につながっています。PDF化した看護手順は電子カルテからいつでも確認が可能になっています。また、技術動画を通じて実際の看護場面の理解促進にもつながっています。

看護部理念を実現するために不可欠な人材育成ツール



医療法人 川崎病院

前列左:副看護部長(教育統括) 石田 貴美子 様
前列右:ラダー別教育委員長 中村 成子 様
後列左:新人教育委員長 立石 朱樹子 様
後列右:看護補助者教育委員長 足立 亜紀 様

当院は、2012年に「学研ナースングサポート」を導入した利用歴13年の“古参”です。導入当初はうまく活用できなかったのですが、教育委員会が主体となって教育プログラムに組み込み、キャリア開発ラダーと連動させることにより、今では看護部理念実現のために不可欠な人材育成ツールの1つとなっています。ほかにも、自作のオンデマンド研修によるコロナ禍での教育機会の提供、看護部手順書としての活用、多職種での院内研修など、使える機能はすべて利用させていただいています。

オリジナル手順書を作成し、看護実践に役立てています！



JA静岡厚生連
静岡厚生病院

左:看護部長 岸山 眞理 様
右:看護副部長 菊池 美和子 様

当院は、「ビジュアルナースングメソッド」を導入して3年になります。委員会で確認して、使用物品などに変更を加えた当院オリジナルの手順書を作成し、各部署でいつでも見ることができる手順書として活用しています。パソコンで見ることができ、必要時確認しながら看護実践が行えます。新人看護師は初めて行う技術の学習に、先輩看護師や中途採用者は、自分の技術の再確認に利用しています。統一された看護の提供と、看護の質の向上のために役立てています。

「ビジュアル」 ナースングメソッド

約380テーマ

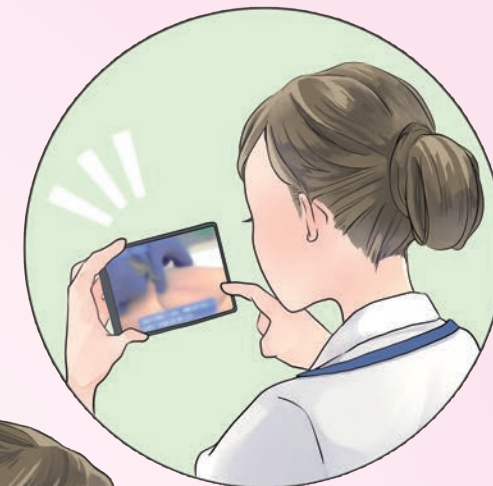
新テーマ続々公開中！ 監修 聖路加国際病院



累計導入院数 No.1

2024年6月期 指定領域
における市場調査

調査機関：
日本マーケティング
リサーチ機構



受講費用(税別)

年度契約

年度途中からの
お申し込みも可能

学研ナースングサポート または 看護師の 併用がおトク 特定行為研修(共通科目)と併用の場合

ビジュアルナースングメソッドとともに、学研ナースングサポート(講義配信サービス・別売り)の著名講師陣による講義をOFF-JTで活用すれば、さらに質の高いOJTが実施できます！

受講料金	20,000円/月
------	-----------

●単体でお申し込みの場合

受講料金	40,000円/月
------	-----------

選べるオプション

看護管理者特別コースⅠ	〈基礎・概論編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルがおさえおくべき最新の看護マネジメント	10,000円/月
看護管理者特別コースⅡ	〈実践編〉認定看護管理者セカンド・サードレベルに求められるマネジメント術を事例で学ぶ	10,000円/月
入退院支援・地域包括ケアコース	「生きる」を支える～地域・病院で患者に寄り添う看護～	10,000円/月
学研介護サポート	新人から管理者まで施設(全職員)のためのe-ラーニング	10,000円/月
学研訪問看護サポート	基礎から実践まですべてのスタッフが学習できる！	15,000円/月
看護実践シミュレーション	臨場感のある事例動画で、『気づく力』を鍛え、看護に活かすシミュレーション研修！	10,000円/月
看護師の特定行為研修 実践サポート	修了者の「力」をもっと現場に届けるために施設みんなで学べる	10,000円/月
プレミアム管理機能	テストの合格点を設定したり、施設の独自研修をe-ラーニングシステム上に登録できます	10,000円/月
視聴状況見える化オプション(有料版/年4回)*	弊社で各施設様の視聴状況を分析し、「視聴状況レポート」として定期的にフィードバックします	10,000円/年度

※オプションの詳細は該当サービスのパンフレットをご覧ください ※視聴状況見える化オプション無料版(年2回)は全施設に適用されます
※看護師の特定行為研修の区分別科目、領域別パッケージの費用については、別紙パンフレットをご参照ください

＋ 単体でお申し込みの場合でも、
以下のオプションの追加ができます！

お問い合わせ・資料請求は

株式会社 学研メディカルサポート
〒141-8414 東京都品川区西五反田 2-11-8

TEL: 03-6431-1228 (代表) 担当: 営業部
FAX: 03-6431-1414 WEB: <https://gakken-meds.jp>



2025
年度版

2024年10月発行

手順書&技術動画を自施設用にカスタマイズ！
統一された看護手技で安心・安全な看護を

Gakken

指導者ごとに
教え方が違って、
スタッフが混乱する

手順書を刷新したいけど
イチからつくるのは大変

新人向けの
研修教材を
充実させたい

手順を確認したいけど、
該当の手順書をすぐに
見つけられない

手順書の
更新に
時間がかかる

そのお悩み

ビジュアル ナースングメソッドが 解決します！

導入のメリット！

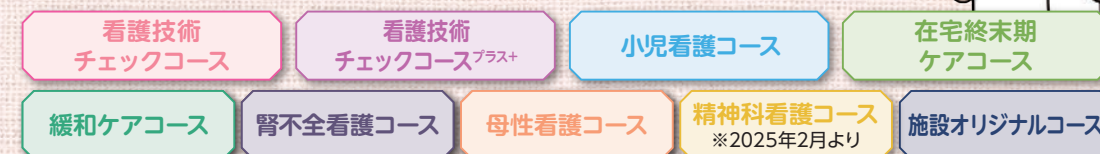
- 最新のエビデンスに基づいた看護手順書が手に入る！
- 入室時の声かけから記録の書き方まで新人でもわかりやすい！
- 教える側も教えられる側も同じ教材を活用できる！
- 短時間で繰り返し学べて、看護技術が身につく！

手順書の作成で
お悩みの
Aさん



手順書の作成や更新が大変

新人看護職員研修ガイドラインに沿った「看護技術チェックコース」をはじめ、幅広い分野の手順書をそろえています。最新のエビデンスに基づき、学研が定期的に見直しを行っているので更新も簡単です！**自施設の内容に合わせた編集も可能！**



看護技術教育で
お悩みの
Bさん



新人・中途採用者の手技の統一を図りたい

全職員が統一された手順書と動画を使用することで共通理解度が上がります。手順書内に「**根拠・安全対策**」などのポイントを併記することで共通理解が深まります



手順書をもっと
身近に活用したい
Cさん



電子カルテに手順書を入れて活用したい



手順書が
より身近に！



導入後も 安心！

- ☒ **アフターフォローも充実！**
- ☒ **エリア担当者がしっかりサポート！**
専任の営業担当者が運用方法などのご提案も行いますので、安心してご利用いただけます
- ☒ **視聴状況の見える化！**
弊社で各施設様の視聴状況を分析し、「視聴状況レポート」として定期的にご提供いたします

※年2回(9月/3月)のレポートは全施設様に無料でご提供いたします
※年4回(6月/9月/12月/3月)のレポートをご希望の場合は、別途、お申し込みが必要です

【フィードバックの一例】

データ取得日	2023/9/18
データ取得日時数	43
個人利用済データ数	1735
出庫数	108
個人利用済または出庫済のデータ数	1843
1人あたり利用済データ数(個人利用済または出庫済)	42.209
合計利用時間	638:25:10
平均利用時間	14:50:48
利用時間中最長	0:27:13
利用時間中最短	16:25:56
ホアアクセス回数	7
ホアアクセス率	1.07
テストの実施回数	8
評価データ数	13
評価利用済データ数	6
評価利用済割合	46.2%





4つのステップ

在宅ケアまで充実の7コース約 **380** テーマ！

ビジュアルナーシングメソッドは、「看護手順書」「技術動画」「テスト」「評価表」の4本立てで
看護師の技術習得をサポートします！

1 看護手順書で手技を学習



Point!

手順書が**編集できる**ので、
自施設に合わせた技術研修
ができる

Point!

ポイント で押さえてほしい
「**根拠**」や「**コツ**」、「**安全**」や
「**感染**」の観点も学習できる

Point!

すぐに探せる
AI検索搭載

看護手順の管理をサポートする便利機能

編集機能

手順書の物品・手順・写真・技術動画やテスト問題を
簡単に編集でき、施設独自にカスタマイズ可能！
以下の設定も可能です。

- 1 テーマ名設定** 施設独自のテーマ名に変更できる！
- 2 施設メモ設定** 手順書にオリジナルのメモを追記できる！
- 3 添付資料設定** 医療機器マニュアルや院内資料などの
文書ファイルを添付できる！

更新お知らせ機能

学研が定期的にコンテンツを見直し、
最新の情報に更新。
更新されたコンテンツは、「テーマ管理」
ボタンより簡単に反映！



※更新があるテーマは
赤くなります

2 技術動画で場面を理解

個々の手技はもちろん、患者への声かけから対応まで、看護の場面を理解できる
自施設の動画を追加でき、自施設の手技統一や研修に使える

Point! **短い動画でポイントや注意点を
何度でも確認できる！**

Point! **実際の声かけを動画で学ぶことができる！**



侵襲度の高いテーマには3DCGを用いた動画を追加！



3 テストで理解度を確認

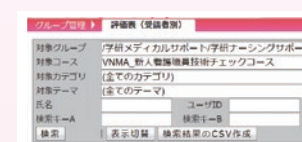
学習した看護手順の理解度を
自分で確認しながら復習できる

Point! **各受講者のテスト結果は
管理者・教育担当者も確認が可能！**

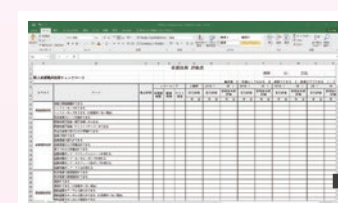
Point! **自施設に合わせた
テストに編集可能！**

4 評価表で到達度を共有

学習者と評価者は評価表をWeb上または印刷して共有できる



① Web上で共有
Webから教育担当者が評価表に評価を
入力し、学習者と共有できる！
評価表はCSVデータで出力も可能！



② 印刷して紙で共有
評価表をダウンロードし、印刷して共有できる！
Excel形式なので、評価項目を編集して施設専用の
評価表をつくることも可能！



さらに！
指導・評価で使える
チェックリストもご用意！

新人看護職員研修ガイドラインに沿い、準備・実践・記録まで学べるベーシック編

看護技術チェックコース監修 聖路加国際病院

環境調整技術	■ 体動・移動に注意が必要な患者への援助 (認知症患者の場合) Re	▶ 包帯法 (亀甲帯)	■ 麻薬の理解と管理 Re	▶ 腹囲測定 (臥位)
▶ 病室の環境調整 Re	清潔・衣生活援助技術	▶ 包帯法 (三角巾)	■ 特別な注意を要する薬剤の管理 Re	苦痛の緩和・安楽確保の技術
▶ ベッドメイキング Re	▶ 全身清拭 Re	■ 褥瘡の予防 Re	■ 抗菌薬の用法の理解と副作用の観察 Re	▶ 安楽な体位の保持 Re
▶ 臥床患者のシーツ交換 Re	▶ 洗髪 Re	▶ 褥瘡の予防 ― 摩擦と ずれ予防 Re	■ 抗ウイルス薬等の用法の理解と副作用の観察 Re	■ 冷電法 Re
食事援助技術	▶ 口腔ケア (非挿管患者の場合) Re	▶ 褥瘡処置 Re	救命救急処置技術	▶ 温電法 Re
▶ 間接的嚥下訓練 (嚥下体操) Re	▶ 口腔ケア (挿管患者の場合) Re	▶ 創傷処置 (サージカルテープとフィルムドレッシング材の貼り方、はがし方) Re	▶ 意識レベルの把握 Re	■ リラクセーション法 Re
▶ 間接的嚥下訓練 (アイスマッサージ) Re	▶ 入浴介助 Re	与薬の技術	▶ 一次救命処置 (BLS) Re	■ 精神的安寧を保つためのケア Re
▶ 安全な食事介助のための準備 Re	▶ シャワー浴介助 Re	▶ 経口与薬 Re	▶ バッグバルブマスクの使用法 Re	感染予防技術
▶ 食事介助 Re	▶ 陰部洗浄	▶ 経皮与薬 Re	▶ ジャクソンリースの使用法 Re	■ 標準予防策 (スタンダードプリコーション) の考え方 Re
▶ 経鼻胃管の挿入 Re	▶ 陰部洗浄 (膀胱留置カテーテル挿入患者)	▶ 口腔内与薬 Re	▶ AEDの使用法 Re	▶ 手洗い Re
▶ 経鼻胃管からの栄養法 Re	▶ 手浴 Re	▶ 点眼 Re	▶ 気管挿管の準備と介助 Re	▶ 手指消毒 Re
▶ 胃ろうからの栄養法 Re	▶ 足浴 Re	▶ 点耳 Re	▶ 止血法 Re	▶ 個人防護具の着脱 Re
▶ 経腸栄養ポンプ: アプリックス スマート Re	▶ おむつ交換 Re	■ 点鼻 Re	▶ チームメンバーへの応援要請 Re	▶ N95微粒子用マスクの着脱 Re
▶ 経腸栄養ポンプ: カンガルーポンプ Re	▶ 寝衣交換 Re	▶ 直腸内与薬 Re	症状・生体機能管理技術	▶ 滅菌手袋の装着 Re
▶ 経腸栄養ポンプ: ネオフィードENポンプ Re	▶ チューブ類の取り扱い (寝衣交換の場合) Re	■ 吸入法 (定量噴霧式吸 入器) Re	▶ 脈拍測定	▶ 滅菌ガウンの着用 Re
▶ 経腸栄養ポンプ: アミカ Re	■ 整容 Re	▶ 吸入法 (ドライパウダ ー式吸入器) Re	▶ 動脈触知 (上肢) Re	▶ 滅菌物の取り扱い Re
排泄援助技術	■ 爪切り	▶ 簡易懸濁法 Re	▶ 動脈触知 (下肢) Re	■ 清潔野のつくりかた Re
▶ 臥床患者の排尿援助 Re	■ フットケア	▶ バイアル、アンプルか らの薬剤の吸い上げ Re	▶ 動脈触知 (頭頸部) Re	■ 感染性廃棄物の取り扱い Re
▶ 臥床患者の排便援助 Re	呼吸・循環を整える技術	▶ ミキシング、プライミ ング Re	▶ 腋窩検温	■ 針刺し・切創・粘膜/創傷汚染予防策と発生後の対応 Re
▶ 導尿 Re	▶ 鼻カニューラによる酸素吸入 Re	▶ 皮下注射 Re	▶ 体温測定 (鼓膜) Re	■ 洗浄・消毒・滅菌 Re
▶ 膀胱留置カテーテルの挿入 Re	▶ 簡易酸素マスクによる酸素吸入 Re	▶ 筋肉内注射 Re	▶ 血圧測定 Re	安全確保の技術
■ 膀胱留置カテーテルの管理 Re	▶ リザーバ付き酸素マスクによる酸素吸入 NEW	■ 皮内注射 Re	▶ 血圧測定 (電子血圧計) Re	▶ 誤薬防止 Re
▶ 膀胱留置カテーテルの抜去 Re	▶ ベンチュリマスクによる酸素吸入 NEW	■ インスリン製剤の種類 ・用法と副作用 Re	▶ 血圧測定 (下肢) Re	▶ 患者誤認防止策の実施 (患者確認) Re
▶ 浣腸 (グリセリン浣腸) Re	▶ ネブライザー機能付き酸素吸入器による酸素吸入 Re	▶ インスリン注射 (専用 シリンジ) Re	■ 瞳孔の評価 Re	▶ 患者・部位・手技名の誤認防止 (タイムアウト) Re
▶ 摘便 Re	▶ 高流量鼻カニューラ (HFNC) 酸素療法	▶ インスリン注射 (ペン 型) Re	▶ 呼吸音の聴取 Re	▶ 転倒・転落防止策 Re
活動・休息援助技術	▶ 酸素ボンベからの酸素吸入 Re	▶ 静脈内注射 (静脈穿刺 によるワンショット) Re	▶ 静脈血採血 (シリンジ採血) Re	■ 薬剤曝露の防止 Re
▶ 歩行介助 Re	▶ 口腔内・鼻腔内吸引 Re	▶ 点滴静脈内注射 Re	▶ 静脈血採血 (ホルダー採血) Re	■ 放射線被曝の防止 Re
▶ 車いすへの移乗 Re	▶ 気管切開患者の開放式吸引 Re	▶ 点滴静脈内注射の血管 確保 Re	▶ 血液培養 Re	死亡時のケア
▶ 車いすでの移送 Re	▶ 挿管患者の開放式吸引 Re	▶ ヘパリンロック Re	▶ 鼻咽頭ぬぐい液採取 Re	■ 死後のケア Re
▶ ストレッチャーへの移乗 Re	▶ 挿管患者の閉鎖式吸引 Re	▶ 静脈内注射 (三方活栓 からのワンショット) Re	■ 胃液培養	
▶ ストレッチャーでの移送 Re	■ 人工呼吸器の準備 Re	■ 中心静脈カテーテル 挿入の準備 Re	▶ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い (一般検査、細菌検査) Re	
▶ チューブ類の取り扱い (移乗の場合) Re	■ 人工呼吸器の管理 ― 1. 人工呼吸器と気道の管理 Re	▶ 中心静脈カテーテル 挿入の介助 Re	■ 採尿・尿検査の方法と検体の取り扱い (蓄尿検査) Re	
■ 良肢位の保持 (仰臥位)	▶ 人工呼吸器の管理 ― 2. 患者の観察 Re	■ 中心静脈カテーテル 挿入患者の管理 Re	▶ 喀痰採取	
▶ 体位変換 (左右の移動) Re	■ 人工呼吸器の管理 ― 3. 日常のケア Re	■ PICC (末梢挿入型中心静 脈カテーテル) 挿入の準備	▶ 喀痰採取 (吸引による)	
▶ 体位変換 (上下の移動) Re	▶ 人工呼吸器の管理 ― 4. アラーム対応 Re	■ PICC (末梢挿入型中心静 脈カテーテル) 挿入の介助	▶ 動脈血採血の準備と検体の取り扱い	
▶ 体位変換 (仰臥位から側臥位) Re	▶ ジェットネブライザーの実施	▶ PICC (末梢挿入型中心静脈 カテーテル) 挿入患者の管理	▶ 血糖値測定 Re	
■ 体位変換 (仰臥位からセミファウラー位)	■ 超音波ネブライザーの実施	▶ 輸液ポンプの使用 Re	▶ 心電図検査 (12誘導心電計の装着と計測) Re	
▶ 体位変換 (仰臥位から端坐位) Re	■ 人工呼吸器の回路交換 Re	■ 輸液ポンプの管理 Re	▶ 心電図モニタの装着と管理 Re	
▶ チューブ類の取り扱い (体位変換の場合) Re	▶ 体位ドレナージ Re	▶ シリンジポンプの使 用 Re	▶ パルスオキシメータによる測定 Re	
▶ 廃用症候群予防	■ 体温調整の基礎知識 Re	▶ シリンジポンプの管 理 Re	▶ 身長測定	
▶ 関節可動域訓練 (上肢)	創傷管理技術	▶ 輸血の準備	▶ 体重測定	
▶ 関節可動域訓練 (下肢)	▶ 包帯法 (螺旋帯)	▶ 輸血の実施	▶ 胸囲測定	
■ 入眠・睡眠の援助 Re	▶ 包帯法 (蛇行帯)	■ 輸血中と輸血後の観 察	▶ 腹囲測定 (立位)	

NEW：2024年10月に新規公開したテーマ

Re：2024年10月に改訂したテーマ

Re：2024年9月以前に改訂したテーマ

🎥マーク：3DCG動画あり

🎬マーク：動画あり

■マーク：動画なし

※ ご利用開始日以降に改訂した内容の反映は、各施設ごとにお選びいただけます

※ 最新の情報は弊社ウェブサイトをご覧ください

※ 新規公開予定のテーマ名・動画の有無は変更になる場合がございます

臨床カテゴリーを取りそろえたアドバンス編
看護技術チェックコース プラス 監修 聖路加国際病院

基本技術	▶ 心臓ペースメーカ植え込み術直後の対応
▶ 皮下埋め込み型ポートの管理	消化器
▶ ドレーン挿入患者の管理	▶ 腹腔穿刺
▶ 局所麻酔における看護	▶ 腹腔ドレーン挿入
▶ 胃ろう周辺部のスキンケア Re	▶ イレウス管挿入患者の管理
▶ 弾性ストッキングの着用	▶ ストーマサイトマーキング
▶ 間欠的下肢空気圧迫法	▶ ストーマ造設術直後の装具交換
救急	▶ ストーマ装具の排泄物処理
▶ 救急カートの点検 Re	検査
▶ 電気ショック（除細動器） Re	▶ 腰椎穿刺
▶ ハイムリック法 Re	▶ 骨髄穿刺
▶ 窒息時の吸引 Re	▶ 上部消化管内視鏡検査
▶ 経口エアウェイ・経鼻エアウェイ Re	▶ 上部消化管内視鏡検査看護
▶ 熱傷時の初期対応 Re	▶ 下部消化管内視鏡検査
▶ 胃洗浄における看護 Re	▶ 下部消化管内視鏡検査看護
▶ アナフィラキシー発症時の初期対応 Re	▶ 気管支鏡検査
▶ 病院内での成人に対する二次救命処置（ALS） Re	▶ 気管支鏡検査看護
手術	▶ 心臓カテーテル検査
▶ 硬膜外麻酔における看護	▶ 心臓カテーテル検査看護
▶ 貯血式自己血輸血の採血	▶ 血管造影検査
集中ケア	▶ 血管造影検査看護
▶ 脳室ドレナージの管理 Re	▶ 上部消化管X線造影検査
■ 腰椎ドレナージの準備と介助	▶ 上部消化管X線造影検査看護
■ 腰椎ドレナージの管理と抜去	▶ 超音波検査
▶ 動脈圧モニタ（準備）	▶ 超音波検査看護
▶ 動脈圧モニタ（ラインの挿入）	▶ RI検査
▶ 動脈圧モニタ（採血）	▶ RI検査看護
▶ 動脈圧モニタ（管理）	▶ CT検査
呼吸器	▶ CT検査看護
▶ 経皮的輪状甲状靱帯（膜）穿刺 Re	▶ MRI検査
▶ 気管切開部の管理	▶ MRI検査看護
▶ 気管切開チューブ交換の介助	▶ X線一般撮影
▶ 人工呼吸器離脱（SAT、SBT） Re	▶ X線ポータブル撮影
▶ 人工呼吸器離脱（気管チューブの抜去） Re	その他
▶ 胸腔穿刺（胸水）	▶ 陰圧閉鎖療法中の患者の管理
▶ 胸腔ドレーン挿入（胸水）	▶ 介達牽引・直達牽引の介助 Re
▶ 胸腔ドレーン挿入（気胸）	▶ 牽引中の患者の管理
▶ 胸腔ドレナージの管理	■ 神経根ブロックの検査前準備（病棟・外来）
循環器	■ 神経根ブロックの検査前準備（放射線科）
▶ 心嚢穿刺	▶ 神経根ブロックの検査介助
▶ 心嚢ドレーン挿入	■ ギプス巻きの介助
▶ 体外式ペースメーカ挿入患者の対応	■ 牽引中の体位交換

Re：2024年10月に改訂したテーマ Re：2024年9月以前に改訂したテーマ
▶マーク：3DCG動画あり ▶マーク：動画あり ■マーク：動画なし

小児看護に必要な臨床の声かけ・技術を中心にした
小児看護コース 監修 聖路加国際病院

食事援助技術	安全確保の技術
■ 安全な食事介助のための準備	■ 転倒転落防止策
▶ 食事介助（調乳）	▶ 抱っこ
■ 食事介助	呼吸・循環を整える技術
排泄援助技術	■ 酸素吸入（総論）
▶ 浣腸（グリセリン浣腸）	■ 酸素吸入（鼻カニューレ）
活動・休息援助技術	■ 酸素吸入（酸素マスク）
▶ ベビーカーの使い方	■ 口腔内・鼻腔内吸引
■ 入眠・睡眠の援助	与薬の技術
清潔・衣生活援助技術	■ 吸入法（総論）
■ 口腔ケア	■ 吸入法（ジェットネブライザー）
▶ 小児の沐浴	■ 吸入法（定量噴霧式吸入器）
■ シャワー浴介助	■ 吸入法（ドライパウダー式吸入器）
■ おむつ交換	■ 点眼
症状・生体機能管理技術	■ 点耳
▶ バイタルサインの測定	■ 点鼻
▶ 尿の採取	▶ 経口与薬
▶ 身長測定	■ 直腸内与薬
▶ 体重測定	救命救急処置技術
▶ 頭囲測定	▶ 意識レベルの把握 Re
▶ 静脈血採血	▶ 一次救命処置（BLS） Re
■ パルスオキシメータによる測定	▶ バッグバルブマスクの使用法 Re
苦痛の緩和・安楽確保の技術	▶ AEDの使用法 Re
■ 冷電法	▶ 小児二次救命処置（PALS）
■ 温電法	その他
	■ プレパレーション

知識や技術の向上、現場での実践に役立つ
在宅終末期ケアコース 監修 聖路加国際病院

在宅終末期ケア	▶ 初回訪問（服薬指導）
■ 終末期とエンドオブライフケアの考え方	▶ 初回訪問（帰り際）
▶ 終末期ケアへの意思の確認	▶ 初回訪問（振り返り）
▶ 在宅療養の準備（情報源と収集すべき情報）	▶ 家族との関わり方
▶ 退院前カンファレンス	▶ チームアプローチ
▶ 在宅療養の準備（患者と家族に提供すべき情報）	▶ 急変時の対応
■ 訪問前準備（緊急体制の確立）	■ 訪問看護報告書の作成
▶ 訪問看護計画立案作成	▶ エンゼルケア
▶ 初回訪問時の注意点	▶ グリーフケア
▶ 初回訪問（バイタルサインのチェック）	

※ 改訂した内容の反映は各施設ごとにお選びいただけます
※ 最新の情報は弊社ウェブサイトをご覧ください

苦痛をもつ患者と家族に寄り添い、QOLを高める

緩和ケアコース

監修 聖路加国際病院

緩和ケアとは	精神的側面の苦痛	Re
緩和ケアとは	不安、せん妄、抑うつ傾向にある患者のケア	
緩和ケアにおけるチーム医療	患者を支えるコミュニケーションのコツ	
緩和ケアにおける看護師の役割	社会的側面の苦痛	
緩和ケアで直面する倫理的問題	スピリチュアルな側面の苦痛	
全人的アセスメントとケア	家族のケア	
全人的苦痛の理解	家族ケア	
身体的側面の苦痛	看取りのケア	
がん性疼痛の薬物療法を受ける患者の看護	遺族ケア	Re
放射線療法を受ける患者への看護	その他（緩和ケア）	
がん性疼痛の緩和に有効な看護ケア	事例紹介	

透析の基礎知識から生活指導までを網羅する

腎不全看護コース

監修 聖路加国際病院

血液透析（HD）	バスキュラーアクセスカテーテルの管理（血液浄化療法時の操作）
▶ プライミング操作	▶ バスキュラーアクセスカテーテルの管理（血液浄化療法時の操作）
■ 開始前の体重測定	腹膜透析（PD）
■ 開始前の患者状態評価	▶ CAPD（マニュアル/つなぐ）操作
▶ 開始操作	▶ CAPD（マニュアル/むきんエース）操作
▶ 透析中の患者状態の観察と対応	▶ APD（つなぐ・かぐや）操作
■ 透析中の患者ケア（血圧低下時の対応）	▶ APD（ぴこ・マニュアル/むきんエース）操作
▶ 透析中の患者ケア（飲食・排泄）	▶ PD関連腹膜炎
▶ 返血操作と患者状態評価	▶ PDカテーテル関連合併症
▶ 終了時の止血について	■ PD関連合併症
■ 血液透析における適正透析（透析効率・体液管理）	▶ 腹膜透析における適正透析（透析効率・体液管理）
■ 災害時の対策（平時からの対策、患者教育）	▶ PDカテーテル挿入術の管理（位置決め・術前・術後）
■ 災害時の対策（初動対応と透析中断・中止）	▶ PD出口部ケア（消毒・入浴方法）
■ 血液透析における合併症	透析看護
■ シャントの管理	■ 透析看護における患者指導
■ バスキュラーアクセスカテーテルの管理（挿入後・合併症の管理）	▶ 腎臓リハビリテーション（運動療法）

妊婦・褥婦・新生児の観察とケアを通して母性看護を学ぶ

母性看護コース

監修 聖路加国際病院

褥婦の観察とケア	新生児の観察と検査
■ 産褥復古の観察	▶ 新生児のバイタルサイン測定
■ 清潔指導（外陰部、乳房）	▶ 新生児のフィジカルアセスメント
■ 乳房の観察とセルフケア	■ 先天性代謝異常スクリーニング検査
■ 骨盤底筋体操	■ 経皮黄疸検査
■ 肩から上背部のマッサージ	■ 聴覚スクリーニング検査
■ 下肢の浮腫への対処法と指導	

Re：2024年9月以前に改訂したテーマ

▶ マーク：動画あり ■ マーク：動画なし

※ 改訂した内容の反映は各施設ごとにお選びいただけます

※ 最新の情報は弊社ウェブサイトをご覧ください

※ 新規公開予定のテーマ名・動画の有無は変更になる場合がございます

精神保健福祉法に基づき、精神科看護の考え方と技術を学ぶ

精神科看護コース

制作協力 ハートランドしぎさん

患者の権利と法制度の理解
■ 精神保健福祉法の理解
▶ インフォームド・コンセントの取得
■ プライバシーの保護
■ 貴重品・私物の取り扱いと管理
精神科看護におけるアセスメント
■ 精神科における情報収集とアセスメントの基礎
精神科治療における看護
▶ 隔離実施時の安全確保と観察
▶ 身体的拘束実施時の安全確保と観察
■ 身体的拘束の最小化
■ 隔離の最小化
■ 向精神薬の理解と管理
▶ 向精神薬の投与（持効性注射剤を含む）
■ 急性期における頓用薬の使用と観察
▶ セルフケアのアセスメントと援助

Check!

2025年2月より

精神科看護コースの配信が

スタートします

精神保健福祉法をもとに根拠となる知識と考え方を示し、すぐに実践できる看護技術を学べる教材として、精神科看護コースを開設します。

患者への具体的なケアがイメージでき、精神科病棟にかぎらず一般病棟でも幅広くご活用いただける内容となっております。ぜひ、自施設の研修等にご活用ください。



Check!

施設独自のテーマを最大60件まで自由に設定できます



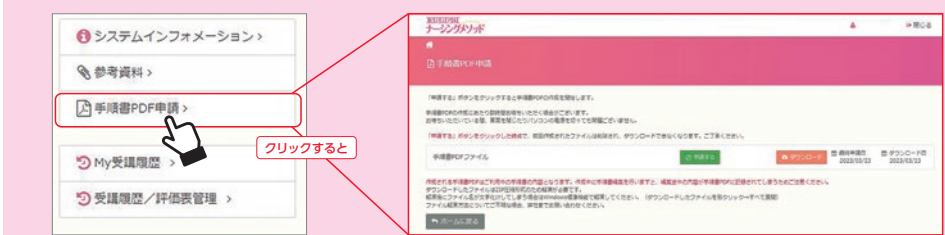
「施設オリジナルコース」で、施設独自のテーマを自由に設定できます。施設オリジナルテーマは、手順書の編集だけでなく、テストの編集、動画のアップロードも可能です。

※オリジナルテーマの編集は、管理者専用IDまたは、手順編集用IDをお持ちの方のみ行うことができます

Check!

「一括PDFデータ化」がボタン1つで申請可能に

POINT 1	手順書に貴施設名が入ります
POINT 2	探しやすいよう、テーマごとにしおりが付きます



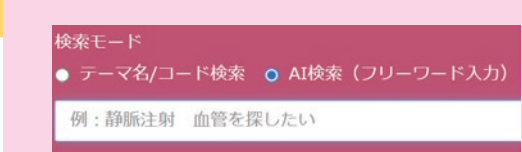
「手順書PDF化申請」から公開中の看護手順書のPDF化を行うことができます。手順書をPDFであらかじめ保存しておけばインターネットにつながらない環境での参照や、電子カルテシステムへの掲載ができるようになり、院内で手軽に手順書の確認が可能になります。

※管理者専用IDでログイン後、いつでも生成可能です

※「申請する」ボタンを押した時点で生成済のPDFは削除されますので、先にダウンロードしてから次の申請をお願いします

Check!

AI検索で「知りたい」に素早くお応えします



確認したいキーワード・文章を入力して検索を行うと手順書の内容をAIが分析し、該当するテーマの手順書をリストアップします！院内の皆様の「知りたい」に素早くお応えします！